



# 2022年度 第二四半期 報告

安平町地域おこし協力隊  
早川 大輝



# 2022年度 第二四半期 報告

安平町地域おこし協力隊  
早川 大輝



# 1. 2期\_発表会

# 2. 3期\_方針・メンバー

# 3. 3期\_アクション

# 4. 3期\_Topics

※2期：05月～07月（07/31：発表会）

※3期：08月～11月（11/27：発表会）



俺のオリジナルアニメ

めっちゃ楽しいビー玉転がしの世界！

ホントにできないの?! 永久機関をつくってみた

オリジナル地球内極秘超危険生物

解いて楽しい! クイズ問題集づくり

ガンケ山を感じる~食べ物編~

激ムズッボトルフリップチャレンジ

チャットボット作成~母を助ける第一歩~



オリジナルTシャツを来て25名の前で発表



休憩時間に発表者（子ども）に教えてもらう保護者



作品が見られている嬉し恥ずかしさで悶えるクリエイター



「ゴールしろ〜！」成功を待望する多様な参加者

- ・ 「『マイプロジェクト』を見せたい」という気持ちが生まれた。
- ・ みんな一緒にやるから「感情」が生まれる。
- ・ 大人が刺激を受ける機会を醸成しやすい。



## 【あなたにとってワクワク研究所とは？（抜粋）】

- ・自分の考えを深められる場所
- ・自分にワクワクを与える場所
- ・自分のやりたいことを思う存分できる場所
- ・みんな仲良しなシェアオフィスみたいな場所

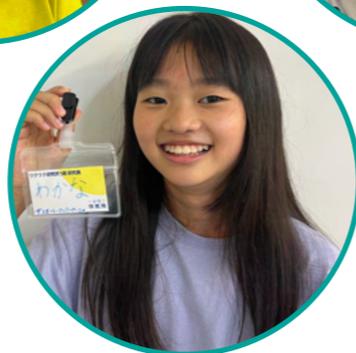


## 方針

「自走力」を高められる取り組みを設計に内包する。

## メンバー

- ・ 全9名の参加
  - 新規3名 / 継続5名 / 復活1名
  - 追分小3名 / 追分中2名 / 早来小2名 / 早来中2名





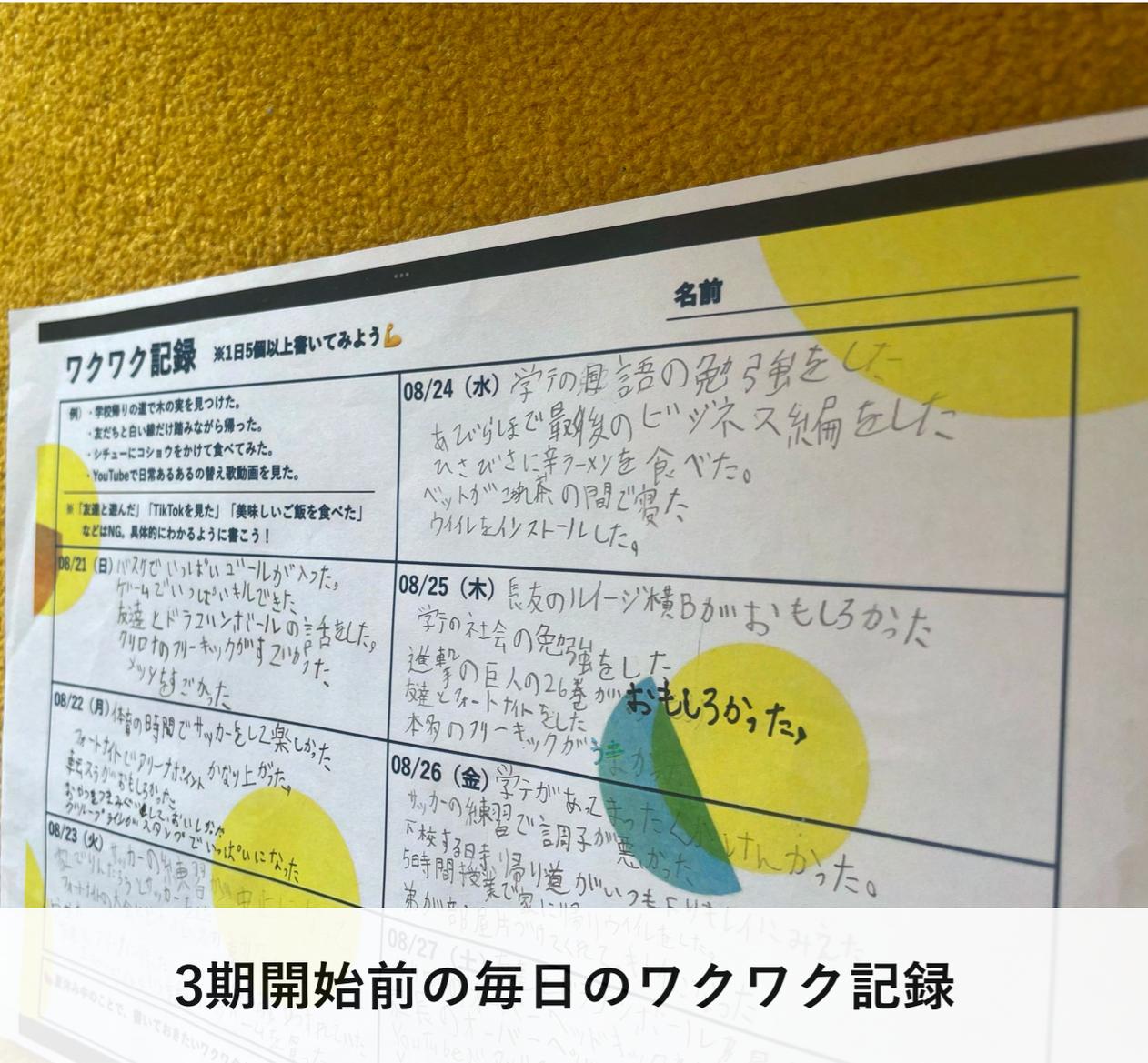
黒板に「やったこと」「家でやること」「来週やること」を可視化

毎回、複数名が自分のプロジェクトを発表

メンバーに進捗を発表！  
彼は風刺画を作成して  
いて、1枚目は「台風」が  
テーマ。

来週は「コロナ」  
どんな作品になるの

- ・ 「自分」がプロジェクトを進めているんだと実感している。
- ・ 他の子どものプロジェクトを見て横からの刺激を受けている。



3期開始前の毎日のワクワク記録



外部刺激で内部思考を引き出すワーク

スタッフとの1対1の会話のみになるべく頼らないような引き出し方の工夫をした。





ゆっくりゲーム実況にチャレンジ

風刺画を描くプロジェクト

大豆から大豆製品を作るプロジェクト

切り絵インテリアチャレンジ

早来小学校で逃走中

「ゲーム」を伝える授業の作成

マイクラで立体迷路の作成

ガンケ山をマイクラで再現

マイクラドット絵の作成





## 進め方を分かってきたのではないか？ と思わせてくれる継続生

- ・ 2つのPJ案をメリットデメリット比較表とともに提出してきた。
- ・ 「思考」を伴うタスクに対し、立ち向かえるようになった。
- ・ ワクワク研究所以外の時間に「プロジェクトのことなんだけど」と話しかけてきた。



## 「町民ワクワク師匠」制度を検討中…

- ・子どもの「やってみたい」に合わせて公式LINEで募集告知を流す。
- ・手を挙げてくれた方を日曜日にお呼びする。

例) 「アクセサリーづくり」 「味噌づくり」 「マイクラ」 「ゲーム実況」



# 2022年度 第二四半期 報告

安平町地域おこし協力隊  
早川 大輝



1. 第4回の実施報告 (09/03)
2. 第5回の実施予定



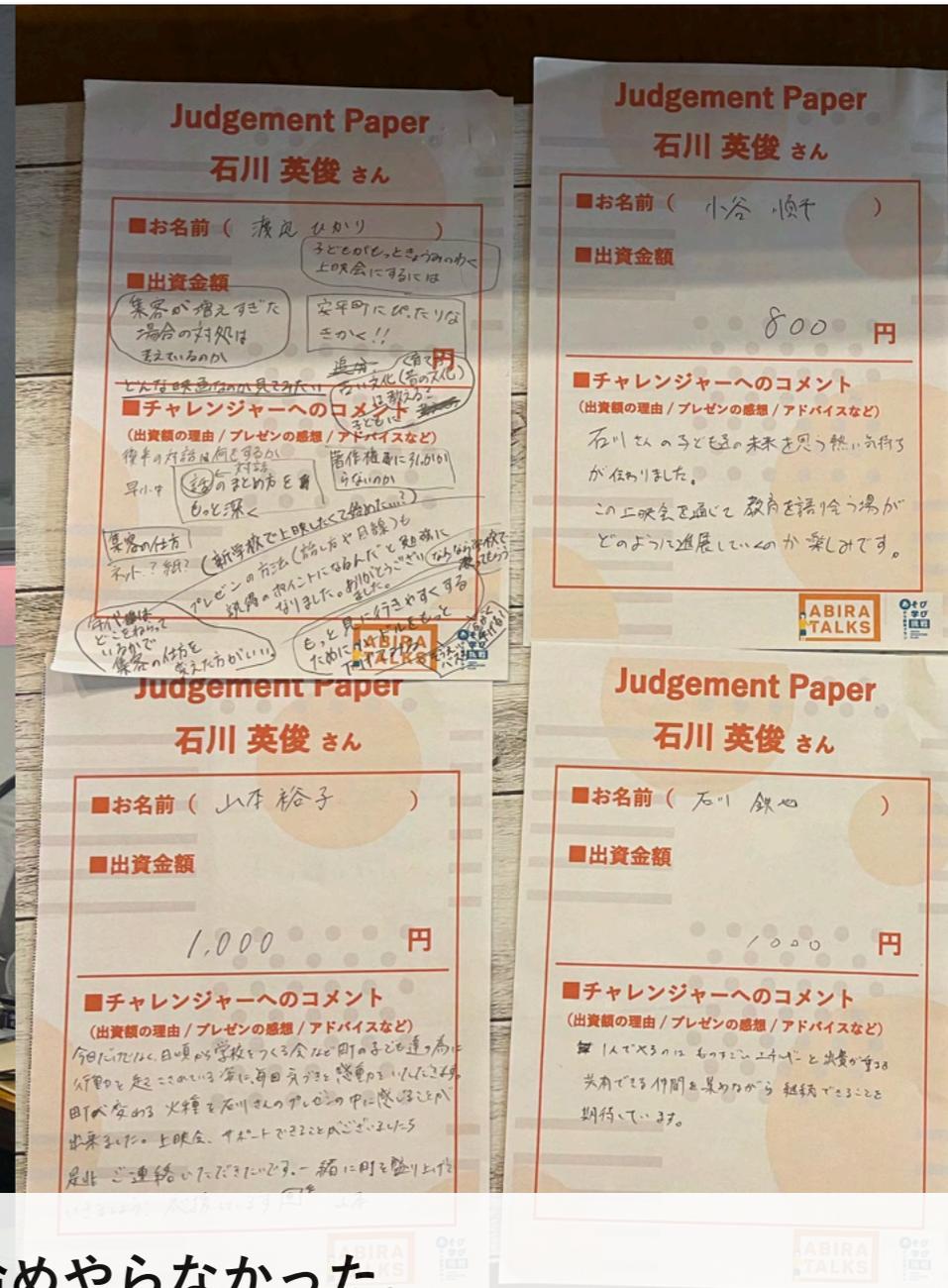


石川秀俊さん / 目標¥10,000  
「『夢見る小学校』の上映会を開催したい！」



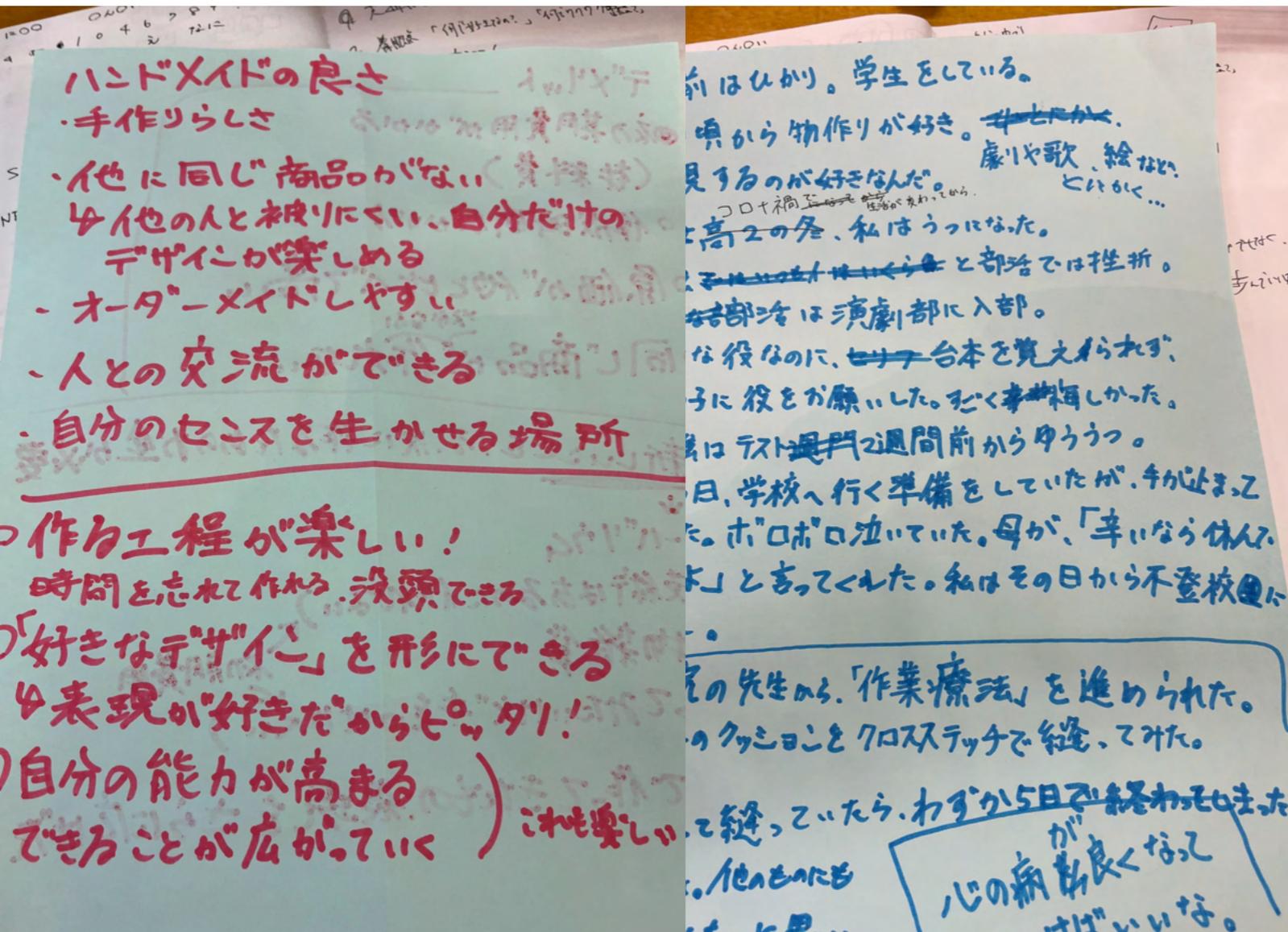
オンライン・オフライン合わせて15名のサポーター

過去最高額 (¥13,600) で目標達成。上映会実施決定。



たくさんの応援コメント。終了後も30分ほど熱が冷めやらなかった。

「安平町に挑戦の連鎖を」というコンセプト。  
定期的を開催することで、生まれていくと実感することができた。



高校生「ABIRA Talksに出てみたい…!」打診

自信をなくし、高校を不登校になる。

▼

「ENTRANCE行ってみたら」に従って  
顔を出すようになる。

▼

ENTRANCEメンバーと頻繁に話すも  
「自信ない」が口癖。

▼

「みんなが挑戦している姿かっこいい」  
と思うようになる。

▼

遊育ふれいばでイメージが広がり、  
早川への打診に至る。

12月ごろにワクワクの小学生と抱き合わせで  
第5回を開催したい。